

公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

『公益社団法人設立』

茨城県診療放射線技師会 横田 浩
平成20年12月1日から施行された「公益法人制度改革関連3法案」を受け、本会では公益社団法人の取得を目指して努力してまいりました。この度、4月1日付で認定を受け、「公益社団法人茨城県診療放射線技師会」として登記致しました。

本会が昭和23年の発足以来、一貫して安全な放射線医療の提供を目指し、放射線技術の向上と会員の職業倫理の高揚に努めてきた活動が、公益活動として認められたという大きな意義があります。

今後も医用放射線の正しい利用方法の啓発に努め、医療従事者として県民の保健医療行政に積極的に取り組んで参りたいと考えております。会員皆様のご協力をお願い致します。

『公益社団法人茨城県診療放射線技師会 設立を振り返って』

くばシティア内科クリニック 高山 賢
来る4月1日より公益法人の認可が下りるという知らせを受けて、「とうとうやったか！」と嬉しい気持ちで一杯です。また、これまで公益法人取得に携わってこられた役員の方々に心から敬意を表したいと思います。
平成20年12月1日に新制度が発足し、これまでの法人は、新たに公益法人または一般法人に移行しなければならないと行政庁より達しがあり、社団法人である当技師会も例外ではなく、どちらかを選択し、5年以内に申請を行わなければならないという使命を課せられました。そのための準備委員会が結成され、私が委員長に任命されたわけですが、大変大きなハードルであったのは間違いありません。今まで考えたこともない「公益法人」、「一般法人」とはなんぞや？というところから始まり、それらをよく理解しない限りどちらの選択が当技師会にとってメリットがあるのか、正直、雲をつかむような話でした。資料を読み、講習会に出向き、検討を重ねた結果、理

事会において「公益法人」を目指そうという結論になりました。そのことは総会においても承認が得られ、いよいよ準備委員会が活動を始めました。まずは一番の柱となる「定款」の改正から取り組み、準備委員会の方々には大変頑張っていただきました。もうひとつの柱であります「財務」は公認会計士の田尻先生のご尽力によりなんとか形になってきました。そして何度か県庁へ出向き、チェックをしてもらいました。そんな頃です。職場の事情で私は役目を続けることが出来なくなり、小原常務理事にバトンタッチしました。その後も横田会長はじめ理事の方々も相当苦勞をされたと聞いています。そして、やっと今年の4月1日に認可になりそうだと聞いて本当に嬉しく思います。最初は雲をつかむような話でも皆で努力すれば何とかなるものなのですね。これからの公益社団法人茨城県診療放射線技師会の益々の発展を祈ってやみません。

《平成25年3月第4回理事会議事録》

開催日時：平成25年3月13日(水)18:05～
場 所：茨城県放射線技師会事務所
出 席：理事 横田浩、長谷川光昭、鈴木達也、小原孝夫、川又誠、仲田智彦、川村拓、梶山裕晃、水木一弘、小仁所圭子、野澤哲也、波多野浩嗣、広瀬和夫、村木一夫、宮本勝美
監事：中澤洋治
委任者：平井正幸、會澤敏広、坂井朋夫、山下ひろみ、
議 長：横田浩
議事録作成：長谷川光昭
議事録署名人：鈴木達也、小原孝夫
18:05出席理事15名(会議開始時点12名)
委任4名で理事会開催規定を満たすことが宣言され、議事に入った。

【議事】

【1】会長報告

- ・2月11日 第3回北関東会長会議開催された。新人への入会依頼あり。
第29回日本診療放射線技師学術大会(島根)への協力依頼あり。30回は大分で開催。

6/29-30 で南・北関東地域学術大会の参加要請あり。演題募集を延長している。

次年度は、茨城開催となる。読影セミナーを日放技が行う予定。医療安全シンポの計画依頼あり。

- ・ピンクリボンフェスティバルは5/12に開催予定。場所はつくば市大清水公園。放射線展開催は難しい→総合福祉会館でのイベントに同乗してはどうか（検討する）
- ・65周年の会員名簿に理事の写真を載せる。500kB程度で技師会事務所に送付してください。（3月中必着）
- ・5/26の平成24年度決算総会と65周年記念式典で理事歴任者6名表彰。公益法人化功労者5名も表彰する。市民公開講座の案が無ければ会長講演でいく。
- ・平成26度関東甲信越学術大会は、平成26年6月28・29日につくば国際会議場で開催する予定。大会長横田会長、実行委員長鈴木副会長。大会テーマとポスター用の写真を募集したが現在1点のみ。3月中に小原常務理事に提出。

【2】公益法人化について（小原常務理事）

- ・4/1付で認可するとどの県からの連絡があった。書類が届き次第登記を行う。名称は「茨城県診療放射線技師会」である。封筒等は、在庫はそのまま使用し、公的なものは新に作成する。【承認】

【3】決算総会について（宮本理事）

- ・議事録の書式が変わった。議事録署名人は議事の中で決めていく。4/12までに事業報告を作成願いたい。

【4】県立医療大との懇談会（村木理事）

- ・1/16に県立医療大学で開催。日本診療放射線技師会、関東甲信越診療放射線技師会、茨城県放射線技師会の現状について説明。

【5】平成24年度読影の補助講習会アンケート報告（村木理事）

- ・参加者48名 アンケート回収33件

【6】3/3市民公開講座報告（村木理事）

- ・参加者会員27名、学生15名 市民3名

【7】平成24年度研修会参加状況報告（長谷川副会長）

- ・まだ3月中に複数の研究会が残っている。
- ・非会員の参加者が比較的多い。これが会員増に繋がるようにしたい。
- ・日放技のポイント登録作業が遅れていて、正確に反映されていないが、申請はきち

んとしている。正確なポイントが反映されるのは来年春ごろとの情報あり。

【8】その他

- ・ソフトボール大会 9/1 予定（波多野理事）
- ・茨城県放射線技師学術大会は、来年6月が南・北関東地域学術大会が開催されるので少し早めて2月終わりに開催する。予算総会は例年通り一緒に行う。（鈴木副会長）
次回は、平成25年度第1回理事会開催は5月の決算総会に合わせて開催する。
19:10 会長が閉会を宣言した。

《行事報告》

1. H24年度放射線治療技術研修会 開催報告

H24年12月22日(土)茨城県立中央病院において放射線治療技術研修会を開催いたしました。内容は教育講演として茨城県立中央病院医学物理士新田和範氏「婦人科小線源治療における治療計画時の注意点」歴史から現在の治療の流れ、物理学、注意点3次元計画への移行について。藤田保健衛生大学 医療科学部放射線学科 助教 林直樹氏「品質保証/品質保証の考え方とリスクマネジメント」標準測定法12、品質管理の定義、参考文献紹介、リスクマネジメントについての講演を行いました。参加者数は13名(内会員10名、非会員3名)。



2. 第15回常陸水戸画像診断研究会報告

H25年1月12日(土)、茨城県立中央病院災害医療センター。参加者68名(会員9名、医師12名、他47名)

各施設の珍しい症例提示や検査法の工夫の発表など、ジャンルや職種にとらわれない発表が今回も多数上げられた。医師、放射線技師、臨床検査技師のそれぞれの立場で工夫や考察を重ねて発表され、一施設では経験でき

ないような症例を見ることが出来た。
特別企画『良いCT診断装置とは』現在の工夫のしどころは各社それぞれ違うが、逐次近似法も標準装備になりつつあり、2管球の普及は足踏みのようである。

特別講演『エビデンスに基づいた血管エコー評価法』関西電力病院 佐藤洋先生の講演はなかなか興味をそそられる内容であり、関西から茨城まで出向いていただき、多数の著書もある佐藤先生のお話を直に聞けるチャンスを得られたことは貴重であった。

3. 第5回茨城放射線腫瘍研究会

学術講演会報告

H25年2月16日(土)つくば国際会議場において開催いたしました。今回は「品質管理および照射におけるひと工夫」「ジェンダーを超えて：職種の多様性と女性の役割」「治療適応の広がり」の3分野にセッションをわけ、更に教育セミナー「治療に役立つ放射線生物学」の講演を行いました。

「品質管理および照射におけるひと工夫」では、超音波装置を用いて照射前の臓器形態を確認した報告、電子線の品質管理を勾配法にて行った報告など。「ジェンダーを超えて：職種の多様性と女性の役割」では女性の技師、看護師、医師の立場からの役割の報告。

「治療適応の広がり」ではメタストロン、IMRT、サイバーナイフ、トモセラピーの各モダリティからの報告などがありました。

教育セミナー「治療に役立つ放射線生物学」は生物影響の過程を時間と関連付けて解説いただき、各過程が整理されて分かりやすい内容でした。

今回の参加者数は92名(内会員32名)。



4. MR研究会開催報告

H24年度MR研究会が2月22日金曜日、水戸プリンスホテルにて開催された。今回は、初めて有料の会場を借りて平日の夜の開催であるにも関わらず、参加人数、20施設37名。

会員からの症例報告として、志村病院の藤咲会員が主に脊柱の検査についての講演。

メーカー講演として、日立メディコの楕円型ボアの装置について説明がされた。非常にユニークな装置で、又アプリケーションもとても充実しており是非使ってみたい機種であると思った。最後に最近の話題であるMRI対応型のペースメーカーの講演を、日本メドトロニック株式会社より頂いた。施設認定への必要事項や



個人でのweb上で学習など、我々放射線技師がこれからやるべきことや、実際に撮影する上での注意点を事細かに説明された。(文責 砂森)

5. 第123回RI研究会報告

H25年2月28日(木)19:00~21:00

【会場】総合福祉会館4F 中会議室

今回は、症例と各施設における心筋検査の現状報告、そして對馬先生の講演を拝聴しました。對馬先生のご講演では、京大の山中教授の「vision&work hard (以下、vw)」という motto を引用し、今後、この研究会がどのような方向へ行くべきかを具体案を用いて示されました。vwとはVisonを持ってWork hardして行こうという考え方で、一見当たり前のようですが、実はこれは対照的な意味を持ち、それが実行することが難しい所だそうです。

研究会を開催するには大きなパワーが必要です。しかし、そのパワーが研究会開催だけで終わっていたように思います。今後は、研究会を行ったら演題もできていた。皆で勉

強していらいいつの間にか専門技師になっていた。というような vision が設定できれば理想と考えます。(土浦協同病院 沼尻俊夫)



6. 消化管撮影研究会開催報告

H25年3月14日(木)茨城県総合福祉会館4階 中講義室にて、消化管撮影研究会を開催しました。(参加者27名)

今回のテーマは『胃 X 線検査における読影について』と題して、東京都がん検診センター消化器内科医長 小田丈二先生をお招きして、検査画像を読影する上で必要な言葉の解説を始め、豊富な画像を提示していただき隆起製病変、陥凹性病変の悪性所見の捉え方等についてご教授していただきました。

症例検討では、フロアの参加者や、講師の小田先生に、提示した画像を読影していただき、消化管検査の基本となる透視観察、追加撮影の重要性、撮影時における存在診断および質的診断などについて積極的な意見交換がされ、大変有意義な研究会となりました。

今後、参加者が気軽にディスカッションできる、明日の業務に活かせる研究会を目指して、運営をしていきたいと考えております。

(文責 齋藤哲也)



7. 第2回 放射線治療技術研究会報告

H25年3月16日(土)筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター茨城県厚生連総合病院水戸協同病院において第2回の放射線治療技術研究会を開催しました。今回は昨年放射線治療装置を更新し臨床稼働しましたトモセラピーの施設見学を兼ねて開催しました。当日は2部構成とし、第1部は教育講演、会員講演、第2部は施設見学としました。教育講演では(株)日立メディコ様よりトモセラピーの特徴、性能、臨床、QAについて。会員講演は水戸協同病院よりトモセラピーの導入経験の講演をしていただきました。

第2部はトモセラピー装置の施設見学。研究会終了後の懇親会へも多数ご参加いただき情報交換の機会を提供できたことは嬉しく思っております。来年度も更によりよい研究会の活動を模索中ですので、引き続きご支援よろしくお願い申し上げます。参加者数は34名(会員23名)。



《 会 員 動 向 》

1. 会員数… 667名 (2013.3.21現在)
2. 入 会

木村 愛夢	土浦協同病院
福岡 千絵	土浦協同病院
横田 信弥	土浦協同病院
石田 昌幸	筑波記念病院

会員の登録内容変更は、日本放射線技師会ホームページから変更手続きをお願い致します。施設変更・自宅住所変更・名前変更・所属技師会変更。(転勤された時も同様です)

公益社団法人の移行にあたり、封書類は在庫が無くなり次第印刷致します。当面シールで対応致しますので、ご理解よろしくお願い致します。